

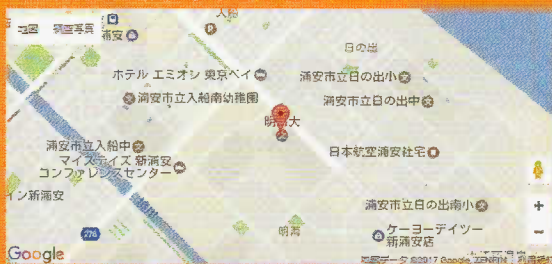
「グローバル高大接続改革の時代到来」

2020年大学入試改革の本当のねらいを明らかにする

主催：21stCEO（21世紀型教育機構） <http://21kai.com/>



〒279-8550
千葉県浦安市明海1丁目
明海大学浦安キャンパス



日付	2017年5月27日（土）	場所	明海大学浦安キャンパス	時間	13：00～ 受付開始12：30	対象	大学入試改革に関心のある方 定員：200名 無料
----	---------------	----	-------------	----	---------------------	----	-----------------------------

2020年、日本の大学入試が大きく変わります。センター試験に代わる「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」がどうなるか、各大学の個別入試がどうなるか。大きな変更点は、記述が増え、各大学の個別入試では、骨太の小論文が増えます。しかし、本当に重要な変化は、まだ見えていません。受験知から探究知にパラダイムチェンジが起こっているのです。

グローバルな社会への現状の移行は予測不能な蛇行をしています。1つ決定的なことはAIをも生み出す「知」は、もはや一国の大学で形成することは不可能で、世界の大学の「知」が結集しなければならないということです。

この世界の大学の「知」の結集の動きにおいて、4技能の英語教育と論文を編集する探究知が必要になったのです。したがって、「高大接続」もまた「グローバル高大接続」にシフトすることになります。これが、2020年大学入試改革の本当のねらいです。高校生のトランジションは、国内の大学や企業に限定される時代ではないのです。

21世紀型教育機構は、この時代の要請を受けとめ、次のような「グローバル高大接続準備教育」をしています。

- 1) 海外大学入学準備教育：高校卒業後、海外の大学に直接進む支援
- 2) 国内大学ファウンデーション入学準備教育：高校で中長期留学をして、日本の大学に進んでから海外の大学に進む支援
- 3) 海外大学ファウンデーション入学準備教育：英国ファウンデーション制度や米国のコミュニティカレッジを活用した支援
- 4) 国際教養大学系入学準備教育：国際教養大学系入学進学によってグローバル高大接続を支援
- 5) STEAM型大学入学準備教育：AI研究などコンピュータサイエンスをベースにした国際的な工科大学入学準備の支援

このような「グローバル高大接続準備教育」で、4技能英語教育の充実は必須です。もう1つの重要事項は、グローバル教育型カリキュラムで学んだ高校の成績評価です。来るべき探究知の地球規模の協働に対応するというのが2020年大学入試改革に対応することの本当の意味なのです。今回は、2020年大学入試改革リーダーである文部科学省と学内ファウンデーションを開設している明海大学のGMMの教授陣と協働して、2020年の大学入試改革の本当の狙いの全貌を明らかにします。

予測不能な時代だからこそ、21stCEO「グローバル高大接続準備教育」が本領発揮！

プログラム（敬称略） 総司会 平方 邦行（工学院大学附属中学校・高等学校校長）

21世紀型教育機構 メンバー校
（五十音順）

- ①13:00 21世紀型教育機構とグローバル高大接続改革
21世紀型教育機構理事長 吉田 晋（富士見丘学園 理事長・校長）
- ②13:15 「2020年大学入試改革と英語教育」
文部科学省 高等教育局審議官 浅田 和伸氏
- ③13:45 「アメリカの大学における21世紀型教育モデルと留学メリット
～ハワイ大学の取組み」
ラッセル・ウエノ（ハワイ大学教授） 通訳：神末 武彦（明海大学教授）
- ④14:15 質疑応答
- ⑤14:40 パネルディスカッション「グローバル高大接続準備教育の到来」
パネリスト
高野 敬三（明海大学副学長 教職課程センター長／元東京都教育監）
福原 正大（IGS代表）
平方 邦行（工学院大学附属中学校・高等学校校長）
- ⑥15:30 質疑応答
- ⑦15:55 閉会の辞 安井 利一（明海大学 学長）

工学院大学附属中学校・高等学校
静岡聖光学院中・高等学校
順天中学校・順天高等学校
正智深谷高等学校
聖徳学園中学・高等学校
聖学院中学校・高等学校
聖パウロ学園高等学校
東京女子学園中学校高等学校
富士見丘中学校高等学校
文化学園大学杉並中学・高等学校
三田国際学園中学校・高等学校
八雲学園中学校・高等学校
和洋九段女子中学校高等学校